

主日礼拝

2023年07月9日
午前10時30分前奏 「主イエス・キリスト 我らを顧みたまえ(1番)」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。
喜び祝い、主に仕え
喜び歌って御前に進み出よ。」 (詩編 100:1, 2)

頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ち ちと み子に
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊 に

リタニー 「大切なひとりひとり」

司会者：生まれたところで仲間はずれにする
わたしたちがいます。

会衆：でも、みんな大切なひとりひとり。

司会者：病気やしょうがいによって仲間はずれ
にするわたしたちがいます。

会衆：でも、みんな大切なひとりひとり。

司会者：イエスさまは、仲間はずれにされた
人々といっしょにご飯を食べました。

会衆：だから、みんな大切なひとりひとり。

司会者：イエスさまは、病気に苦しむ人々を
ぎゅーっと抱きしめられました。

会衆：だから、みんな大切なひとりひとり。

司会者：わたしたちを造られた神様が言われます。

一同：みんな大切なひとりひとり。アーメン。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン
しゅよあわれみ しゅよあわれみ
キリエ エレ イソン
しゅよあわれみ しゅよあわれみ しゅよあわれみ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

聖書 使徒言行録 20：7～12

新約(新共同訳)P253

7週の初めの日、わたしたちがパンを裂くために
集まっていると、パウロは翌日出発する予定で
人々に話をしたが、その話は夜中まで続いた。
8わたしたちが集まっていた階上の部屋には、た
くさんのともし火がついていた。9エウティコと
いう青年が、窓に腰を掛けていたが、パウロの話
が長々と続いたので、ひどく眠気を催し、眠りこ
けて三階から下に落ちてしまった。起こしてみ
ると、もう死んでいた。10パウロは降りて行き、彼
の上にかがみ込み、抱きかかえて言った。「騒ぐ
な。まだ生きている。」11そして、また上に行っ
て、パンを裂いて食べ、夜明けまで長い間話し続
けてから出発した。12人々は生き返った青年を連
れて帰り、大いに慰められた。

賛美 532 「やすかれ、わがこころよ」

Stille, mein Wille
詞：Katharina von Schlegel, 1697 ?
曲：Jean Sibelius, 1866-1957
FINLANDIA

1 やすかれ、わがこころよ、
2 やすかれ、わがこころよ、
3 やすかれ、わがこころよ、

主イエスはともにいます。
いたみも苦しみを
しすかに忍び耐えよ。
主イエスのともにませば、
耐ええぬ悩みはなし。

主イエスのとみにもにませば、
みかはやくみかおあおぐ、

たえぬなやみはなし、
いのちのさしをぞうけん。

- 1 やすかれ、わがこころよ、
主イエスはともにいます。
いたみも苦しみを
しすかに忍び耐えよ。
主イエスのともにませば、
耐ええぬ悩みはなし。
- 2 やすかれ、わがこころよ、
なみかぜ猛るときも、
恐れも悲しみを
みむねにすべて委ねん。
み手もてみちびきたもう
のぞみの岸はちかし。

3 やすかれ、わがこころよ、
月日のうつろいなさ
み国はやがてきたらん、
うれいは永久に消えて、
かがやくみ顔あおぐ
いのちのさちをぞ受けん。

説教 「一人の大切な命」

聖餐式

賛美 81-1 「主の食卓を囲み」

詞：新垣壬敏, 1938-
曲：新垣壬敏, 1938-
MARANA THA

1 主のしょくたくをかこーみ、いのちのパンをいただき、
すくいさかずきをのみ、主にあつてわれらはひとつ。
(くりかえし)
マ ラ ナ タ、マ ラ ナ タ、主のみくにがきますように。
マ ラ ナ タ、マ ラ ナ タ、主のみくにがきますように。

- 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、
救いのさかずきを飲み、主にあつてわれらはひとつ。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

賛美 446 「主が手をとって起こせば」

詞：今駒泰成, 1926-
曲：新垣壬敏, 1938-
KAMI NO MIWAZA

1 主が手をとって起こせば、よろめくあしさえ
2 主が手をのべてさわれば、とじた目はひらき
3 ただ主を見つめあゆめば、なみにもしすまず

おどりあゆむ-よろこび。これぞかみのみわざ。
ひかりをみる-うれしき。これぞかみのみわざ。
おそれしらぬしんこうは、これぞかみのみわざ。

- 1 主が手をとって起こせば
よろめく足さえ
おどりあゆむよろこび。
これぞ神のみわざ。
- 2 主が手をのべてさわれば、
とじた目はひらき
ひかりを見るうれしき。
これぞ神のみわざ。

3 ただ主を見つめあゆめば、
波にもしすまず
おそれ知らぬ信仰は、
これぞ神のみわざ。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「来る朝ごとに、神の光を心にうけて(210番) (P.C.ラトキン)」

司式 袁 紅
説教 向井 希夫牧師
奏楽 玉理 照子
助餐 泉、大代、喜多村

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。